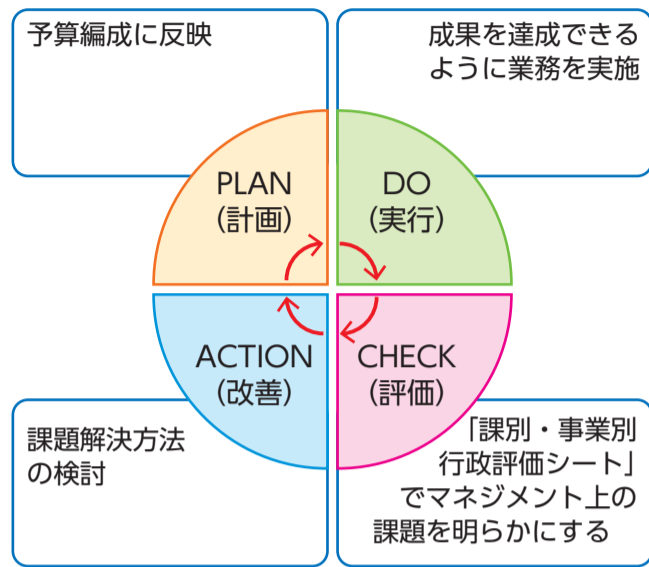


新公会計制度を活用した予算編成について

町田市は、2012年4月から市区町村としては全国で初めて、日常の会計処理の中で複式簿記を行う新公会計制度を導入しました。2015年8月に公表した「平成26年度(2014年度) 町田市課別・事業別行政評価シート」では、事業の有効性・効率性の検証により、さまざまなマネジメント上の課題を明らかにしました。2016年度予算の編成にあたっては、明らかになったこれらの課題を解決できるように、予算編成に反映させました。



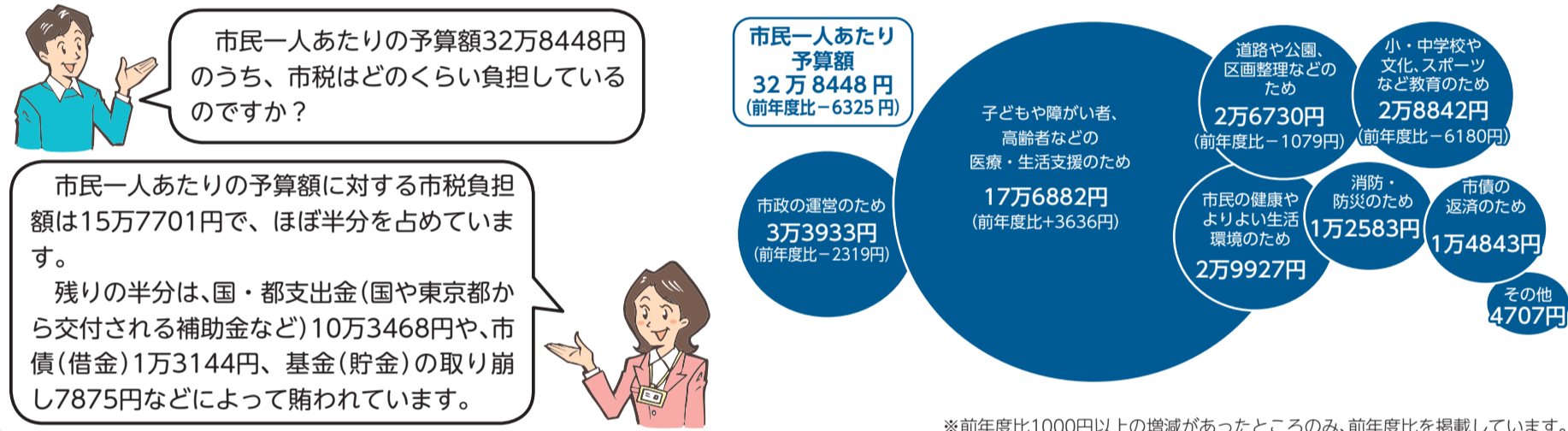
「平成26年度(2014年度) 町田市課別・事業別行政評価シート」で明らかになった課題を、2016年度予算に反映させることができた件数・金額は以下のとおりです。

Table with 4 columns: No, 予算反映させた取り組み, 件数, 金額. Rows include 成果向上に向けた取り組みの強化, 行政運営の見直し, 歳入確保.

新公会計制度の活用により町田市が取り組むべき課題を明らかにし、その解決につながるように予算へ反映させました。町田市では、このようなPDCAサイクルを意識した「評価から計画へ」つながる取り組みを進めることによって、市民サービスの向上を図ります。今後も積極的に新公会計制度を予算編成に活用します！

市民一人あたり予算の使い道

2016年度一般会計予算額を、2016年1月1日現在の町田市の人口(42万6937人) で割って算出しました。



まちだの台所事情

貯金(基金積立金)と借金(市債)はどれくらいあるの？

基金積立金(貯金) の状況

基金積立金は、家計にたとえると貯金にあたるものです。「財政調整基金」では、災害復旧など臨時の支出や経済事情の変動などで収入(歳入)が足りない時に取り崩し、逆にお金が余った時には、貯金(積立)して年度間の財源を調整しています。2016年度末現在高見込額は、2015年度末と比較して28億5500万円の減少となりますが、今後、2015年度の剰余金などを積み立てていくことで、現在高を確保していきます。

Table showing fund accumulation status by category (区 分) for 2015 and 2016, including 財政調整基金, 特定目的基金, and total.

※その他特定目的基金：あらかじめ使い道を決めて積み立てや取り崩しをする基金で、公共施設整備等基金、福祉基金、緑地保全基金、職員退職手当基金、介護保険給付準備基金、廃棄物減量再資源化等推進整備基金、まちだ未来づくり基金があります。

市民一人あたりに換算すると・・・

財政調整基金の残高(2016年度末見込) 6239円

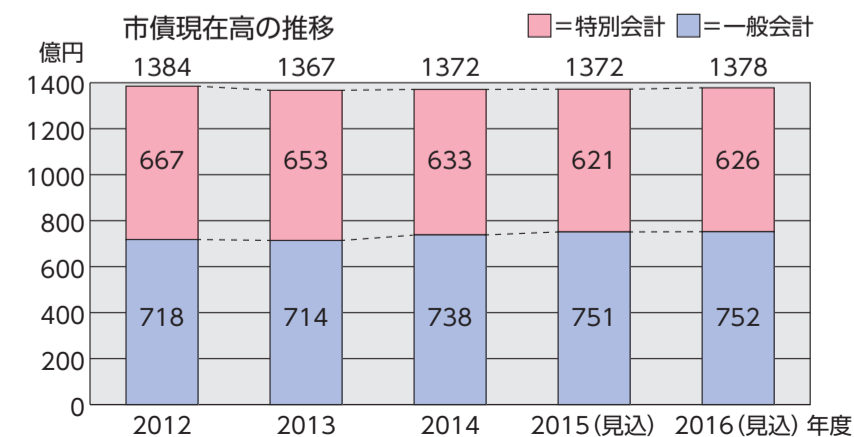
ローンの残高(2016年度末見込) 32万2825円

※人口：42万6937人(2016年1月1日現在)

市債(借金) の状況

市債とは、家計にたとえるとローンにあたるものです。公共施設などをつくるために必要となる多額の資金を「長期ローン」として借り、将来利用する市民との費用負担を公平にしています。ただし、借金であることに変わりはないので、借り入れには十分気をつけています。また、一般会計の市債は市税をもとに、特別会計の市債は医療収益や下水道使用料をもとに返済していきます。

Table showing municipal debt status by category (会計区分) for 2015 and 2016, including 一般会計, 下水道事業会計, 病院事業会計, and total.



※四捨五入による端数処理を行っているため、合計と合致しない場合があります。

2016年度の主な事業と予算額 ～選ばれる町田への挑戦



I 将来を担う人が育つまちをつくる

- 子ども・子育て支援新制度 108億4088万円
出産・子育てしっかりサポート事業 7690万円
待機児童解消対策事業 6億4825万円
子どもクラブ整備事業 1714万円
学童保育クラブ整備事業 1億9092万円
鶴川第一小学校改築事業 2億4946万円
町田第一中学校改築事業 8460万円
中学校施設防音事業 5億1119万円
小・中学校屋内環境整備事業 7億3305万円



II 安心して生活できるまちをつくる

- 緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業 1億7939万円
住宅耐震促進事業 7191万円
防災行政無線デジタル化事業 3億8773万円
汚水管渠地震対策事業(下水道事業会計) 4億5000万円
雨水管渠整備事業(下水道事業会計) 12億2300万円
成瀬コミュニティセンター建替事業 4億2533万円
玉川学園コミュニティセンター整備事業 1億990万円
重度障がい者通所施設整備事業 8億9954万円
臨時福祉給付金等支給事業 4億9735万円
(仮称)戦没者合同慰霊塔会館整備事業 600万円



III 賑わいのあるまちをつくる

- 町田薬師池公園四季彩の杜整備事業 3億2787万円
中心市街地整備事業 2077万円
高ヶ坂縄文時代遺跡公園整備事業 3503万円
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 キャンプ地招致・文化プログラム推進事業 1326万円
外国人観光客等受入推進事業 300万円
野津田公園スポーツの森整備事業 4億2770万円
地域学校開放推進事業 387万円
小野路球場夜間照明施設整備事業 6億9730万円
にぎわい空間創出推進事業(町田シバヒロ) 4426万円
シティプロモーション事業 3658万円

※各枠内に示した事業は、「新5ヵ年計画」に位置づけられた重点事業及びそれに類する事業です。

※複数年度にわたる事業についても、2016年度の予算額のみ掲載しています。

※各事業の詳細は、冊子「平成28年度(2016年度) 予算概要」でお知らせしています。冊子は市政情報課(市庁舎1階)、各市立図書館及び町田市ホームページでご覧いただけます。

未来づくりプロジェクトとは

- 未来づくりプロジェクトは、町田市の都市の魅力を高めるため、町田市が持つ強みと、市民生活をより充実させるための要素を結び、10年を超える長期的な視点に立つて進める取り組みです。町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」の推進において先導的な役割を果たす5つのプロジェクトで構成されています。プロジェクトの主な事業は以下をご覧ください(事業名一部再掲)。
1. 地域社会づくりを基本とするまちづくりプロジェクト 5億4660万円
2. 町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト 6503万円
3. 団地再生に向けたプロジェクト 292万円
4. みどりを活用したまちづくりを推進するプロジェクト 3億6204万円
5. 幹線交通機能を強化するプロジェクト 7694万円



IV 暮らしやすいまちをつくる

- 南町田駅周辺地区拠点整備事業 5億1500万円
循環型施設整備事業 2億6611万円
都市計画道路整備事業 7億9907万円
忠生579号線・忠生630号線新設改良事業 6047万円
多摩都市モノレール延伸促進事業 4244万円
多摩境駅エレベーター設置事業 8100万円
公共施設等マネジメント事業 1036万円
小田急多摩線延伸促進事業 1000万円
相原駅周辺街づくり事業 637万円
鶴川駅周辺街づくり事業 1373万円
小山田周辺まちづくり事業 540万円
団地再生推進事業 292万円
北部丘陵整備事業 3417万円
地球温暖化防止対策事業 1167万円
境川クリーンセンター改修事業 2億1567万円